

# 校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成26年7月18日 NO.15

## 『無事故と安全』で『成長と笑顔』の夏休みに！

4月6日の始業式から、大きな事故もなく、予定されていた1学期の教育計画も無事に終了し、本日の終業式を迎えることができましたこと、心より嬉しく思います。保護者・地域の皆様方のご協力・ご支援に心より感謝いたします。

終業式では、1学期の「あゆみ」の所見について、各学年1名だけですが、大きく成長した事やたくさん努力した様子について紹介させていただきました。ご家庭でも、各教科の評定はもちろん、所見等に記されたがんばりの成果を褒め認めると共に、2学期への励ましの言葉をかけてほしいと思います。よろしく願いいたします。

いよいよ明日より子ども達が楽しみにしていた夏休みが始まります。一人一人がしっかりと『計画と目標』をもって、健康に留意し『無事故』で『安全』な夏休みとしましょう。そして、9月1日には、全員の子どもそろって、『成長』と『笑顔』の始業式を迎えましょう。

## 国立七小見守り会・・・1学期の間、大変ありがとうございました。

7月16日（水）午後6時より、本校視聴覚室にて「七小見守り会」の意見交換会が行われました。昨年までは、数人の方々による自主的な活動であったものが、「見守り会」が発足してからは、常に20名近くの方々が学区内の辻々に立って頂いており、心より嬉しく感謝の思いでいっぱいです。市教委の指導主事の先生も、朝の国立第七小学校の登校風景を見て、これほどまでに多くの地域の方々が自主的に参加し、児童の安全を見守ってくれている事は、特筆すべきことだと賞賛されておりました。

意見交換会は、横戸会長や菊田事務局長、PTA会長、地域町会代表のお話の後に、各町会・方面ごとに分かれました。そして、1学期の見守り会の活動を振り返り、意見を交換すると共に、地域での防犯注意地点などの確認や、今後に向けての様々な情報共有など、前回に引き続き活発な話し合いが行われました。

地域の皆様からいつも温かな目で見守ってもらい、励ましを頂いている第七小学校の児童は、とても幸せだと感じております。これからも感謝の思いを忘れずに、地域と学校が協力し合い、安全で優しく温かな学区作りができればと心より願っています。

